

念仏の声

編集・発行：「御同朋の社会をめざす運動」岐阜教区委員会広報部

〒500-8882 岐阜市西野町3丁目1 電話 (058) 262-0231 FAX (058) 263-7353

<https://www.hongwanji-gifubetsuin.jp/> E-mail: info@hongwanji-gifubetsuin.jp

2025(令和7)年6月1日発行 vol.251



正覺寺『てらカフェ』の様子

寺カフェ

『縁舎』揖斐組善立寺 ④

『てらカフェ』西濃北組正覺寺 ⑤

- ・教務所長挨拶・令和6年能登半島ボランティア活動報告 ②
- ・僧侶宗会議員就任挨拶・門徒宗会議員就任挨拶 ③
- ・念珠について ⑥
- ・法話「おやじどうしのふれ合い」 ⑦
- ・教務所・別院からのお知らせ ⑧

如燈風中



岐阜教区教務所長
御同朋の社会をめざす運動
岐阜教区委員会委員長

羽川俊裕

岐阜教区内の皆さまにおかれましては、法要、行事、会議などたいへんお世話になり、温かくお声をかけていただいておりますこと、ありがとうございます。

少し前の話ですが、境内の掃除をしていて竹箒をポンと地面に投げた時、軸の竹にヒビが入ってしまった、大切な道具にもかかわらず、つつい投げしてしまったことを反省しました。

蓮如上人は『蓮如上人御代記聞書』の中で「神に対しても仏に対しても、馴れてくると手ですべきことを足でするように」と仰せられています。さらに続けて「阿弥陀如来・親鸞聖人・よき師に対しても、馴れ親しむにつれて気安く思うようになるのである。だが、馴れ親しめば親しむほど、敬いの心を深くしなければならぬのは当然のことである」と仰せになられたとあります。

私は慣れで、本来、丁寧に手を使って行うことを粗雑に足でしてしまいます。座布団を移動する時、履き物を揃える時、扉を閉める時など、つつい雑に扱ってしまうことがあります。誠にお恥ずかしいばかりです。

蓮如上人は日常生活の物事に対する姿勢をおたとえに、阿弥陀さま、親鸞聖人、先人の方々をおろそかにすることへの誠めを教えてください。

この私を必ず救う、我にまかせよと、私に寄り添い、常にはたき続けてくださっている阿弥陀さま、そして阿弥陀さまのみ教えをお伝えくださった親鸞聖人、さらに先人の方々のご恩を聞かせていただくほどに身がしみる思いがし、その温かさに深い親しみが湧いてきます。報いきれないご恩に出遇ったとき、自身にできる限りの姿勢を表すことはまことに当然のことでありましょう。

背いてばかりの私ではありませんが、私にかけられたその願いに、ただただ、南無阿弥陀仏と今まで以上の感謝のお念仏を称えさせていただきたいと思います。



「令和6年能登半島地震」ボランティア活動報告

令和6年1月1日の「能登半島地震」から1年以上が過ぎ、また同年9月の豪雨による被害もあり、まだまだ復興したとは言えない状況であります。

岐阜教区・岐阜別院では、毎月、災害支援活動を行っております。今回は、岐阜教区から組長会長、仏教婦人会の会員と一緒にボランティア活動に参加しました。

3月10日午後、岐阜別院から金沢別院に向けて出発し、到着後は別院内の「能登半島地震支援センター」で翌日の打ち合わせを行いました。本願寺職員から被害状況などを聞き、翌日のサロン活動の内容について協議を行いました。今回は、婦人会員の発案で、紙芝居を行うことになり、配役を決め、実際に読み合わせを行いました。



翌朝、金沢別院を出発し、石川県鳳珠郡穴水町の「ご縁サロン」に参加しました。仮設住宅横の生

涯学習センターでのお茶会では、皆さんと一緒にケーキを食べた後、紙芝居「いもころがし」を披露しました。参加者からは、「30年ぶりに紙芝居を見て楽しかった」、「こんなに笑ったのは久しぶりです」などのお声を聞かせていただきました。

午後からは、能登町に移動し、仮設住宅横の施設で開かれた「ご縁サロン」では、同じく紙芝居を披露した後、本願寺職員が準備した、クラフト作製などを通して皆さまと交流ができました。

岐阜教区、岐阜別院では、毎月1回、金沢でボランティア活動を続けてまいります。今後も支援を続けてまいりますので、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



僧侶宗会議員就任挨拶



東陽組 教泉寺
住職

近藤 利尊
こんどう りそん

私は昨年の十二月、二期目の宗会議員という大役を頂戴致しました。

宗会は私達の浄土真宗本願寺派では最高議決機関であり、国でいえば国会にあたります。その宗会議員は全国で僧侶議員47名、門徒議員31名の78名で構成されています。

現在の会派の状況は顕心会15名、一信会9名、凜和会8名、朋友倶楽部8名、無所属の会7名、門徒会派31名となっており、私は一信会に属しています。会派は派閥のようなもので、議決する時は同じ行動をとります。

本年二月の定期宗会では、「新しい領解文」に反対する多数派から園城義孝総長が選出され、二年間にわたる宗門の混乱が収束しました。

これからは正しいご法義を中心とした宗務が執行されますので、微力ながら精一杯その職を努めていきたいと思えます。

門徒宗会議員就任挨拶



郡上組 教林寺
門徒

和田 学
わだ まなぶ

令和六年十二月十四日、宗会議員総選挙が行なわれました。今回までに、前任者と三回の選挙となり、四年前に、初当選させていただき、今回が二期目に成ります。

宗会議員総選挙では、新しい「領解文」（浄土真宗のみ教え）を普及推進してきた総局の方針に対する反対意見が支持される結果となり、本年二月招集の第三二五回定期宗会において、池田総局は、新しい「領解文」（浄土真宗のみ教え）に関する施策を取り下げた上で、宗門内の混乱を長引かせた責任を受け止め、一刻も早い信頼回復を図るべく総辞職を決意され、新しく総局体制（園城義孝総局）が発足し、正常化に着手することが出来ました。

宗門には、多くの課題が山積しており、解決に向けて頑張っています。



心と体に優しい、新たなコミュニティの形
地域を彩る、個性豊かな寺カフェの紹介



『縁舎』 揖斐組善立寺

かつて谷汲村立長瀬保育園として

使われていた築100年ほどの園舎を、2020年より約1年間かけて改修。昔の建具や床を磨き、天井や壁にペンキを塗って、楽しみながらリノベーション。かつてこの園舎で働いてきた人々、ここで学んできた子どもたち、この村でお寺を守ってきたくださった人々、たくさんの方々からの賜物を、新しい繋がりのもとにしたいと、若坊守の川瀬富士美さんが、寺カフェ『縁舎』としてオープンされました。

「善立寺に嫁ぎ、子育てをしながら、お寺や地域のために、自分自身に何ができるかをずっと考えていました。人が集うイベントを企画したり、グリーンフケアを勉強したりする中で、何気ない休息のお茶の時間が一番みんながほっとしておしゃべりに花が咲くことに気がきました。誰にでも悩みや孤独感や喪失感はありませんが、お寺のカフェで集い、語り合い、心休まるひと時、そして出会いや繋がりになればと願って

います」と、富士美さん。

『縁舎』を拠点として、落語会や音楽会などの催しもあります。また映像人類学者の夫の慈さんと「寺子屋シネマ」も開催。「映像や写真、生の音や声を通して、自分の身の回りの世界や、地球上で繰り広げられている様々な文化や出来事を見て、感じて、考える学びの場を、子どもたちや地域の人たちに向けて開いています」と語ってくださいました。

地域の昔の写真を集めた「記憶の地図」写真展では、高齢の方々が集い、昔の記憶が蘇り思い出話が尽きませんでした。「近くにこういう場ができて、本当に嬉しい」という喜びの声も聞こえてきました。

取材に伺った日は、福祉施設「西美濃の里」を利用されている中橋裕子さんの作品展が開かれていました。ドーナツや菜の花、キノコ、野菜などをテーマにした色彩豊かな絵画が、壁いっぱいに表示され、『縁舎』をさらに明るくしていました。



『てらカフェ』西濃北組正覺寺

神戸町地域包括センター主催のカフェが、9年前の4月からお寺の本堂で開かれています。近くの方も、遠くの方も、門徒さんも門徒さんでない方も、誰もが集えるカフェです。ボランティアの方と坊主さんが、お茶の接待などされていましたが、皆さん和気あいあい、月一で開催されるカフェを楽しみにしておられる様子。

福祉課の政策で始まったカフェでしたが、お寺が会場になることで、自分の生きる道を知る場にもなっています。

取材に伺ったこの日は、4月8日のお釈迦様の誕生日(花まつり)に少し早かったのですが、たくさんの花に囲まれた誕生仏と甘茶が用意されていました。お茶とおしゃべりでくつろいだ後、甘茶をいただいたて、ご住職の「人が人として歩むべき道」の話を、皆さん熱心に聞いておられました。

ボランティアコンサートも開かれるそうで、「コンサート時には毎回来てると」と、嬉しそうに話してくだ

さった方もいらっしゃいました。

180年以上の歴史を持つ本堂の床下には、濃尾大震災の時にできた盛り土の亀裂が保管されています。この歴史ある本堂のように、先人が積み上げてくださった聞法の道場が、新しい広がりや繋がり、場所になっています。

「本堂は、公共の場であって、住職の物ではないということを、形で示していきたいので、個性的な物や余計な物はありません。住職が居ても居なくても動いていく場所にしておきたいと思っています」ご住職のお言葉です。



念珠について

門徒さんの法事にお参りさせていただいた時の事です。

「あつ！お念珠忘れた」

「べつにお念珠なんて無くてもいいよ」

というヒソヒソ声が聞こえてきました。

念珠は無くてもいいものでしょうか？

何のために念珠を用いるのでしょうか？

か？少し考えていきたいと思います。

浄土真宗本願寺派で用いる念珠には、

単輪^{ひとわ}念珠と双輪^{ふたわ}念珠の二種類があります。

念珠は珠数・数珠（ジュズ）とも言います。

もともとは読経や念仏の回数を数える

ための法具だったようです。また念珠

には「煩惱を鎮める」や、「善に導く魔除

けの力」などの様々な功德があると考え

る人もいます。

浄土真宗では念珠を念仏などの回数を数えるためや、功德を求めて用いる

のではありません。念珠は阿弥陀様を

合掌礼拝する時の礼儀として、仏徳讃

嘆のために用いる大切な法具です。蓮

如上人は御文章二帖第五通珠数章で

『珠数の一連をもつひとなし。さるほ

どに仏をば手づかみにこそせられたり』

と示されているように、決して無く

もないものではありません。法事や仏

事、お寺に参拝する際は念珠をうっかり

忘れてしまわないようにしたいもの

です。

また念珠は経本と同様、床や畳に直

に置いたり、投げたり足にかけたり、

粗末に扱わないようにしてください。

最後に、念珠の紐が切れると不吉な

事だと思う人がいますが、念珠の紐は

切れるものです。お釈迦様が説かれた

ように、この世は「諸行無常」であり、

形あるものはいつか壊れます。紐は切

れる事が当たり前な

のです。紐が切れた

念珠は修理をして、

末永く大切に使用

しよう。



岐阜教区
勤式儀礼振興会理事
中川北組 善通寺

上野 大観
うえの たいかん

おやじどうしのふれ合い



ずいぶん昔の話ですが、娘が通っていた小学校でPTAに関わりを持ちました。初めての顔合わせの時、どのお父さんの顔にも、「ほんとはあまり関わりたくないのだけれど、子どもがお世話になっていることだし、しかたがないから、まあ一年だけ適当に顔を出してみるか。そうすりゃ、しばらくはまわってこんだろう」と書いてありました。

しかし、会合を重ね、居酒屋でお酒を酌み交わすうちに、職場や家庭で肩身の狭いお父さん達の連帯感からか、誰かとながり合いたい、共感し合いたいという願いからか、仲間意識が少しずつ生まれてきました。

その頃に、父親委員会主催の「家族参

観日」に《親子防犯教室》という行事が開催されました。防犯について、講堂の舞台でわかりやすく実演をすることになり、段ボールで家や車などを作る準備のときにお父さん方のパワーが炸裂し、予定よりも数段素晴らしい凝った家や車ができ、驚きあつたものでした。

人間は、基本的にお互いが理解し合いたい、つながり合いたいという願いを持っていてと思います。お互いがそれぞれの立場を尊重し、支え合うことで、ひとりでは逃げ出したりしたくなるようなことや、重荷になるようなことにも、手を携えて、助け合って、より大きな力で取り組んでいけると思います。

そして、阿弥陀様の本願に願われて
いる私たち念仏者は、自分の思いや都合にとらわれることなく、自己中心的な生き方を見つめ直し、これからも「御同朋の社会」を目指して、ともどもに推進していきましょう。



本願寺派布教使
黒野組 祐蓮寺

箕浦 良信
みのうら りようしん



賽銭箱

が寄進されました

本願寺岐阜別院の本堂に賽銭箱をご寄進いただきました。

2024年9月22日秋季彼岸会に合わせて、寄進いただきました岐阜別院総代の廣瀬之彦さん(ひろせ ゆきひこ)に感謝状の伝達をいたしました。

本願寺岐阜別院は、皆様の尊いご懇念によって成り立っています。引き続き、別院護寺にご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。



お知らせ

●本願寺岐阜別院全戦没者追悼法要
岐阜教区実践運動研修会Ⅰ(非戦平和学習)

日時

○7月9日(水) 午前9時30分～12時00分

ご講師 木戸季市さん

(日本原水爆被害者団体協議会事務局長・聖徳学園大学名誉教授)

●場所…本願寺岐阜別院 本堂

●本願寺岐阜別院『第73回黎明講座』

日時

○8月1日(金) 午前7時～8時30分

ご講師 木戸季市さん

(日本原水爆被害者団体協議会事務局長・聖徳学園大学名誉教授)

○8月2日(土) 午前7時～8時30分

ご講師 祖父江佳乃さん

(節談説教・真宗大谷派有隣寺)

○8月3日(日) 午前7時～8時30分

ご講師 加藤善一郎さん

(岐阜大学教授・マンガ脱「不登校」作者)

●場所…本願寺岐阜別院 本堂

※詳細は、本願寺岐阜別院までお問い合わせください。



本願寺岐阜別院/岐阜教区
公式Instagram



法要、行事などを中心に情報を発信していきます。ぜひフォロー＆いいね！お願いいたします。



岐阜別院
公式サイト



岐阜教区
公式サイト



「子どもたちの笑顔のために募金のお願い」

宗門では、自他共に心豊かな社会をめざす取り組みの一環として「子どもたちの笑顔のために募金」を行っています。この募金は、国外では海外にある西本願寺の関係機関などと連携して、貧困に苦しむ子どもたちを支援します。また、国内では子ども食堂や学習支援などの活動、児童養護施設などで暮らす子どもたちのために活用いたします。



郵便振替

口座名

「子どもたちの笑顔のために募金」

口座番号

〇〇九四〇一八二八二七六六

※教区や組単位での払い込みの際は、教区名・組名を明記してください。
領収書名を明記してください。

YouTubeチャンネル

「本願寺岐阜別院」について

毎月1回、仏教法話を配信しておりますのでご覧ください。

YouTube 本願寺岐阜別院

または二次元コードを読み取り
ご視聴ください。

